



知床科学委員会 しんぶん

エゾシカ・ヒグマ

ワーキンググループ NO.16

知床世界自然遺産
地域科学委員会

エゾシカ・ヒグマ
ワーキンググループ

海域ワーキンググループ

適正利用・エコツアーリズム
検討会議

河川工作物
アドバイザー会議



知床半島ヒグマ管理計画では、毎年アクションプランを定め、様々なヒグマ対策を実施しています。

例えば、こんな危険な状況をなんとかしたい



子グマは樹上に避難中

母グマ

悲劇を防ぐために

知床を訪れる人々にとって、ヒグマは知床を象徴する魅力的な生き物です。しかし中にはヒグマに自ら近づく人々もあり、ヒグマと人の距離は異様なほど近くなってしまっていることがあります。このような人間たちの行動により生じる“人馴れ”は、クマにも人にも悲しい結末を招きます。多くの人に野生の感動を与え、かつ、人もクマも安心できる公園の仕組みづくりが望まれます。



人もヒグマも暮らせる
知床半島のためにご協力
下さい！

～住民の皆さんへのお願い～

管理計画では、地域の皆さまに、以下のご協力をお願いしています。

- ① ヒグマの存在を常に意識する。
 - ② ヒグマを誘引しないよう食物・ゴミの管理を徹底する。
 - ③ ヒグマの出没情報を役場等へ通報する。
- 斜里町 0152-24-2775 (知床財団 / 日中のみ)
 - 090-3778-4308 (知床財団 / 夜間・早朝)
 - 羅臼町 0153-87-2126 (羅臼町役場産業創生課)
 - 標津町 0153-82-2131 (標津町役場農林課林政係)

平成30年5月のエゾシカ・ヒグマワーキンググループで話し合ったこと

注目!

世界自然遺産地域の外側にとなり合う地区を「隣接地域」と呼んでいます。「となりのシカ」たちが遺産地域に入ってきて植生に影響を与えることを防ぐため、ここでも捕獲を進めています。一般の狩猟が可能な場所では、狩猟者の皆さんにシカを捕獲してもらっています。また、国有林では林野庁が捕獲事業を実施しています。各町でそれぞれの民間事業者が、捕獲したシカを受け入れ、食肉などに活用しています。狩猟者、行政、民間が協働している全国的にも先進的な地域です。

知床半島エゾシカ管理計画・地区区分図



「となりのシカ」をどうするか？

これまでの取り組みにより、隣接地域でもシカの密度はある程度下がったことが報告されています。今後どこまで密度を下げるのか、どうやってそれを維持するのか、これから2年間で管理の目標を検討することになりました。ここには農業を営む方、狩猟者や民間事業者など様々な立場の方がいます。シカを持続的に活用しながら、ともに生きる道を探ることが求められています。

注目!

知床にクマは何頭いるの？



これまでの研究で分かったヒグマの特徴

- 初産年齢
(初めて出産する年齢)
・・・ 5.3歳
- 出産間隔
(何年ごとに子を産むか)
・・・ 2.54年
- 産子数
(一度に何頭の子を産むか)
・・・ 1.78頭
- 初期死亡率
(誕生～1歳までの死亡率)
・・・ 29%～40%

データ提供：北海道大学 下鶴准教授
(Shimozuru et al., 2017)

クマも知床の住民ですが、住民票は無いので正確な頭数はわかりません。ただし、増減傾向はある程度推測することができます。

狩猟や有害捕獲、交通事故などで死んだクマの頭数は把握されています。また過去の研究から繁殖に関するデータもある程度分かっています(※左記データ参照)。人間社会でも国勢調査がありますが、1回、精度の高い生息数調査を行えば、あとは計算から人口の増減を推定することができます。

現在の管理計画で目安としている知床半島のヒグマの生息頭数は、560頭(±440)程度と推定されています。この推定では、最大1000頭から最小120頭と誤差の幅が大きすぎます。管理計画運用のためには、もっと精度を高めなければなりません。今回の会議では、2人の専門家をお招きし、新たな個体数推定の手法について、議論しました。自動撮影カメラや、DNA分析など、複数回の調査手法を組み合わせ、統計分析を用いて解析するという提案が出されました。実現には多くの人手や費用が必要であることが課題です。

会議の内容をもっと知りたい方はコチラ
知床データセンター

<http://dc.shiretoko-whc.com/>

■問合せ先■

環境省釧路自然環境事務所

〒085-8639

北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4階

TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575



ヒグマ情報を公開しています。

2017年7月に、ヒグマ対策用のFacebookアカウントを開設し、主に斜里町のヒグマの目撃情報や生態に関する記事を掲載しています。



<https://www.facebook.com/BearSafetyShiretoko/>

